

国際日本文化研究センター
国際シンポジウム、一般講演会

**Deciphering the Dutch Factory Documents: New Perspectives on Early 17th Century Japan-
Netherlands Relations**

「平戸オランダ商館文書が語る近世初期の日蘭関係」

概要

国際日本文化研究センターは、2015年以來オランダのハーグ国立文書館およびライデン大学文学部と共同でハーグ国立文書館所蔵平戸オランダ商館関連文書の調査を行っている。また、この三機関による共同研究を促進するために、2016年12月9日に同三機関は学术交流協定を締結した。この協定に基づき、国際日本文化研究センターおよびライデン大学文学部は、ハーグ国立文書館から文書のデジタル・データの提供を受け、その翻刻・和訳・研究分析を共同で行ってきている。

その研究成果として2024年度には、ライデン大学と国際日本文化研究センターが翻刻・英語要約の第一冊および和訳の第一冊をそれぞれ刊行する予定である。この刊行を機に、長崎県平戸市で復元再建された平戸オランダ商館にて、初期の日蘭関係史についての国際シンポジウムの開催を企画した。オランダ側と日本側の研究者が集い、今回の刊行分に収録された史料の内容を踏まえて、初期日蘭関係のあり方に新たな見解を提示しながら、その活動が具体的にどのように行われていたのかを国際的・学際的見地から解明することを目的としている。

開催案内

開催日時：2025年3月15日（土）

会場：平戸オランダ商館（2階 多目的スペース）（長崎県平戸市）

主催：国際日本文化研究センター

共催：（公財）松浦史料博物館、平戸オランダ商館

後援：在日オランダ王国大使館、平戸市

使用言語：英語と日本語

プログラム

午前の部

司会：Oliver White（日文研）

10:00-10:15 開会挨拶

黒田 成彦（平戸市長）

岡山 芳治（松浦資料博物館、平戸オランダ商館・館長）

10:15-10:30 趣旨説明と報告

Frederik Cryns（日文研）、Cynthia Vialle（ライデン大学）

10:30-11:00 発表第1部

- ・前田 秀人（平戸市文化観光部）

1616年の貿易制限について／About the Trade Restrictions of 1616

- ・久家 孝史（松浦史料博物館）

松浦隆信の平戸帰還と蘭英商館／Matsura Takanobu's Return to Hirado and the Dutch and English Trading Posts

11:00-11:30 発表第2部

- ・松田 清（神田外語大学客員教授、京都大学名誉教授）

伯爵松浦厚と平戸オランダ商館時代／Count Matsura Atsushi and the age of Hirado Dutch trading post

- ・若松 正志（京都産業大学）

平戸オランダ商館と京都・大坂・長崎／The Dutch Trading Post in Hirado and Kyoto, Osaka, and Nagasaki

11:30-12:00 発表第3部

- ・クレインス 桂子（総合研究大学院大学）

大坂の陣におけるもう一つの戦い—オランダ人の訴訟—／Another Battle in the Siege of Osaka: Legal Proceedings of the Dutch

- ・松方 冬子（東京大学史料編纂所）

将軍朱印状について／Documents with the Shogun's Vermillion Seal (Shuinjō)

午後の部

司会：Edward Boyle（日文研）

13:30-14:00 発表第4部

- ・勝盛 典子（元香雪美術館館長）

1609年版P.カエリウス世界地図と初期洋風画／The 1609 World Map by Petrus Kaerius and Early Japanese Western-style Painting

- ・Frederik Cryns（日文研）

Water Engineering in the Siege of Osaka: Evidence from Specx's letterbook／大坂の陣における治水—スペックス商館長受信書状綴帳の記録—

14:00-14:30 発表第5部

- ・Arjan Agema（ハーグ国立文書館）

Presentation on further unlocking techniques of digitized archives, and the possibilities of

applications for modern archival research／デジタル化されたアーカイブの新たなアクセス技法と、現代アーカイブ研究への応用可能性

- ・ Wim Boot (ライデン大学)

Daimyō on the Edge: The Matsura Between Two Worlds／境界の大名—二つの世界の狭間で活躍した松浦氏—

14:30-15:15 発表第6部

- ・ Ivo Smits (ライデン大学)

A 1617 Dutch emblem book in Early Modern Japan: Joost van den Vondel's *Vorstelijcke warande der dieren* (Royal Display of Animals, 1617) and its Japanese reception／近世日本における1617年のオランダ語エムブレム集：フォンデルの『壮大な動物展示』とその受容

- ・ Cynthia Vialle (ライデン大学)

The annual journeys to the shogunal court: reason and timing／オランダ人の毎年の参府—その理由と時期—

- ・ Leonard Blussé (ライデン大学)

Fitting out the junk *Goede Fortuna*, a visit to the local shipyard in Hirado／ジャンク船フーデ・フォルトゥナ号の艀装—平戸の地元造船所訪問

15:15-15:55 総合討論

15:55-16:00 閉会の言葉

Leonard Blussé (ライデン大学)

17:00-18:00 一般向け講演会

「商館長ジャック・スペックスの受信書状綴帳」

- ・ Frederik Cryns (日文研)